



な っ と く ん の

山口県立山口博物館 学校地域連携担当

2017年10月18日 No.196

なるほどなっとくニュース

なっとくんの「なるほどなっとくニュース」は、県立山口博物館ホームページでダウンロードすることができます。

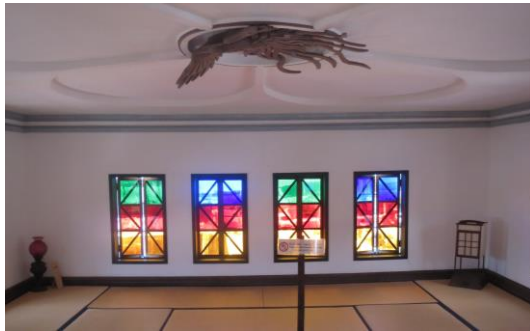
CM Community Museum 地域の宝 学校の宝

めいじじだい 明治時代につくられた かいだ しろ うつく たてもの しかいろ 4階建ての白くて美しい建物 四階楼

かみのせきちようそうごうぶんか 上関町総合文化センターで、出前授業を行いました。向かい側には、四階建ての白い建物があります。この建物は、1879年に、第二奇兵隊の参謀小方謙九郎(1834~1913)によって建てられた「四階楼」で、国の重要文化財に指定されています。西洋建築に見られるコーナーストーン(隅石)が使われ、西洋風の縦長の窓ガラスを取り付けていますが、伝統的な木造の上に漆喰を施しており、擬洋風建築と呼ばれています。謙九郎は、都濃郡栗屋村(現周南市徳山)に生まれ、熊毛郡上関町室津の小方家を継ぎました。奇兵隊に入隊して下関戦争に参加し、第二奇兵隊創設に当たっては参謀となり、幕長戦争(大島口の戦い)において幕府軍を撃退しました。維新後、謙九郎は、廻船問屋や汽船宿を営み、四階楼を取引先の人々をもてなすために使いました。また、仕事のための資金を貸す潤益社を設立して、地域の発展に力をつくしました。飛行機とスキーの発展に関わった長岡外史(1858~1933)は、謙九郎の子どもです。 参考文献：上関町史



四階楼の全景



4階内部の様子



四階楼

かみのせき 上関は、昔から交通の要所でした。足利義満や豊臣秀吉、シーボルト、坂本龍馬ら歴史上有名な人物がここを訪れています。江戸時代には、警護や荷物を調べるための役所「上関御番所」や、藩主や朝鮮通信使といった来賓をもてなすための「上関御茶屋」といった施設が置かれました。また、幕末には防衛のために砲台が築かれ、吉田松陰も視察に訪れており、幕長戦争の際は、高杉晋作が軍艦丙辰丸で寄港しています。室津にある西方寺には、義勇隊、室津鴻城軍といった長州藩の諸隊が駐屯し、本堂には隊士が付けた刀傷が残る柱があります。



旧上関番所(上関町長島)



上関御茶屋跡(上関町長島)



西方寺(上関町室津)



柱の刀傷(西方寺)



山口博物館では、来年1月5日よりテーマ展「奇兵隊の軍服と袖印」を開催いたします。